

登録コード	E4110901	開講年度	2026			
授業科目	教育経営 B				担当教員	宮野 尚
英文授業名	Educational Administration B				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・1 時限	対象学生
講義室	教育図書 2 階講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				学校と地域との連携の意義を多面的に考えることができる。学校安全に関する基礎的な知識を身に付けている。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				学校・学級経営に関する基礎的な理論と課題について説明することができる。自分なりに学校・学級経営に関する問いを立てて、論理的に検討することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、防災減災					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業では、そもそもなぜ学校教育が必要なのかという理念を踏まえたうえで、学校・学級経営に関する理論や実践、さらには今日的な課題について講義・議論を行う。それを通して、一般的な理論や方法に現実を当てはめるのではなく、現実の子どもや地域社会の課題に即して学校・学級づくりを行うために必要な、基礎的な視点・視野および論理的な探究力を身に付ける。 なお本授業では、ワークシートを用いた課題ベースの講義を基調としつつ、適宜グループ・ディスカッションを取り入れながら理解を深めていく予定である。					
(5)授業計画	第 1 回：オリエンテーション：授業の進め方 第 2 回：国際比較からみる現代学校教育の組織構造と諸課題 第 3 回：公教育の理念に基づいた学校経営（１）社会的な公正 第 4 回：公教育の理念に基づいた学校経営（２）子どもの人権 第 5 回：公教育の理念に基づいた学校経営（３）教育の環境構成 第 6 回：学級経営の理論と方法（１）個別最適化と協働 第 7 回：学級経営の理論と方法（２）家庭環境に即した子ども理解 第 8 回：学級経営の課題と対策（１）心理的安全性 第 9 回：学級経営の課題と対策（２）隠れたカリキュラム 第10回：長野県教育方針と学級経営の事例検討 第11回：長野県教育方針を踏まえた学級経営案の試作 第12回：長野県教育方針を踏まえた学級経営案の協議 第13回：学校を核とした安全な地域づくり（学校安全と危機対応） 第14回：地域コミュニティの中での教育活動と学校評価（PDCA） 定期試験 受講者の関心および学習状況に応じて、各授業回のトピックや順序を柔軟に変更する予定である。					
(6)成績評価の方法	・ 講義時のワークシート（40%）、学期末試験（60%）の記述内容を基に、授業への関心・意欲・態度、学校・学級経営に関する基礎的理論や課題についての理解度、自ら問いを立てて論理的に探究する思考力について総合的に判断する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	・ 卓越している...学校・学級経営の一般的な理論と課題を十分理解した上で、自分なりに問いを立てて論理的に検討することができる。 ・ かなり上である...学校・学級経営の一般的な理論と課題を十分理解した上で、自らの関心に基づいて問いを立てることができる。 ・ やや上にある...学校・学級経営の一般的な理論と課題について、具体例を挙げながら、自分の言葉で表現することができる。 ・ 水準にある...学校・学級経営の一般的な理論と課題について、基本的な用語を用いて説明および考察することができる。					
(8)事前事後学習の内容	事前：事前に配布する資料や文献を読み、主要概念を把握するとともに、理解できない点や疑問に思う点について整理する。 事後：授業時に扱ったワークシートの課題や授業を受けて抱いた疑問について、参考文献（１）（２）などを手がかりにして自分なりに考察する。					
(9)履修上の注意	原則対面で実施するが、社会状況や必要に応じてオンラインを活用する。その際には、前もって周知する。					

(10)質問，相談への対応及び連絡先	ご質問・ご相談等のある方は、授業前後の時間が、下記のメールアドレスまでアポイントをお願いします。 mhisashi@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	初回の授業時に説明する。
【参考文献】	(1) 『梅根悟教育著作選集 第2巻 (新教育への道)』明治図書出版、1977、第5 8、11章。次のURLから無料で閲覧可能 (info:ndljp/pid/12106108) 本書は、「そもそも学校はどのような場所なのか?」「なぜ子どもの教育を十分に行うために学校全体あるいは地域全体で連携していく必要があるのか?」などの疑問に対して、実践改革を取り上げながら具体的に論じている。講義の復習用および講義時に抱いた疑問について考えるための発展学習用に推奨する。 (2) 文部科学省の資料 学校安全資料「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」(https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1416715.htm) eラーニング：学校安全の基礎研修教材 (https://anzenkyouiku.mext.go.jp/learning/index.html) (1) は学校・学級経営および地域連携に関する資料で、(2) は学校安全に関する資料。